

2020年12月期 第1四半期決算説明資料

1. 2020年12月期 第1四半期実績
2. 2020年12月期業績・配当の見通し

2020年5月15日
株式会社ツバキ・ナカシマ
(東証一部 6464)



1. 2020年12月期 第1四半期実績



FY2020 1Q業績ハイライト

新型コロナウイルスの影響を受けてマクロ経済が急激に悪化する中、一定の成果

売上

- 売上収益は3四半期ぶりに前四半期を上回り142億円
- セラミック販売は前四半期を2期連続上回り回復基調

利益

- 営業利益は9.9億円となり前四半期から5.5億円改善

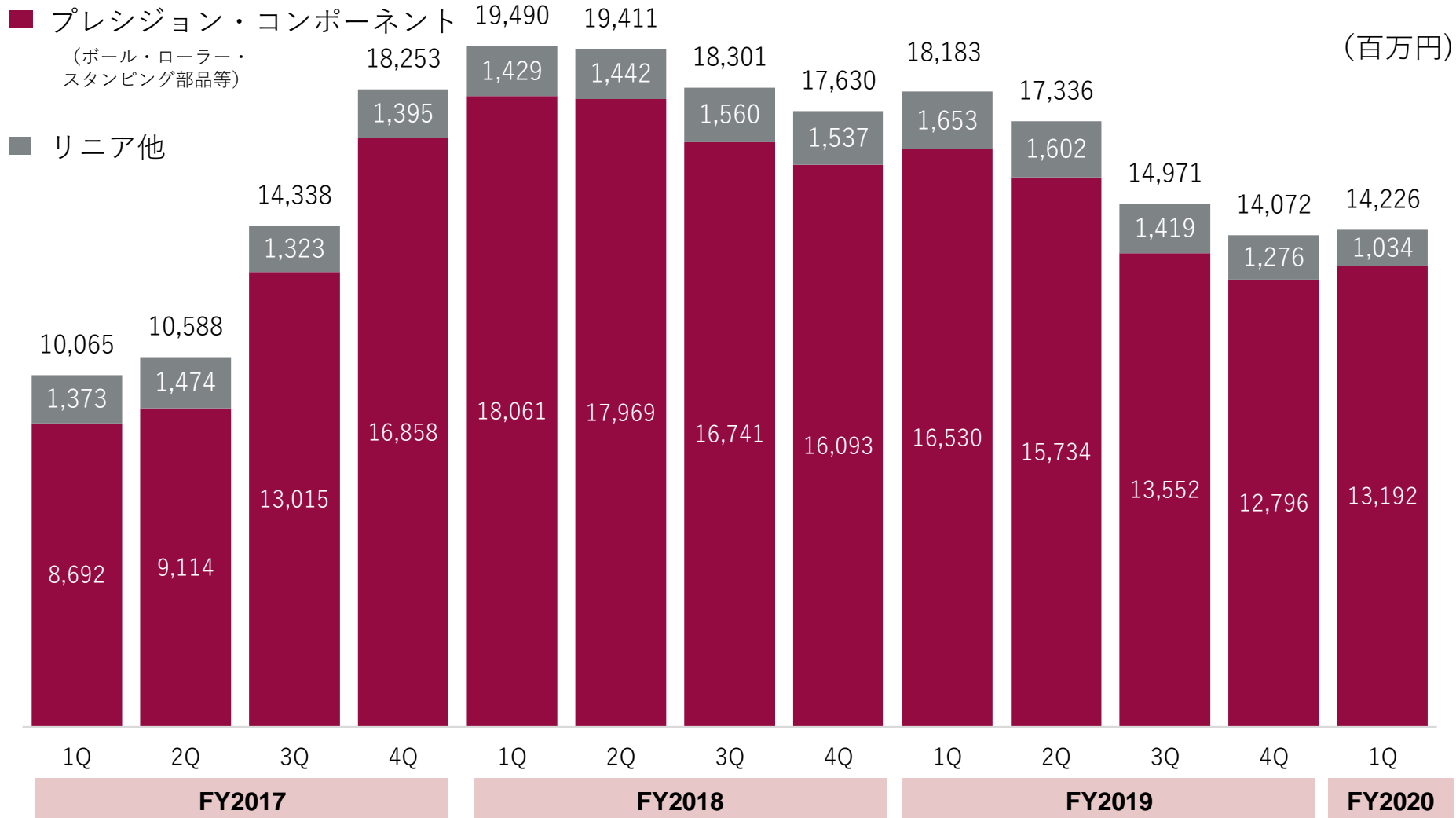
配当方針

- 今期の業績予想を未定とすることから（後出）、配当予想についても未定とするが、配当性向50%は維持
- 年2回（中間及び期末配当）の基本方針は不変



四半期 連結売上収益推移

経済環境の悪化に加え、新型コロナウイルス感染の影響が中国を中心に拡大する中、前四半期を上回る売上





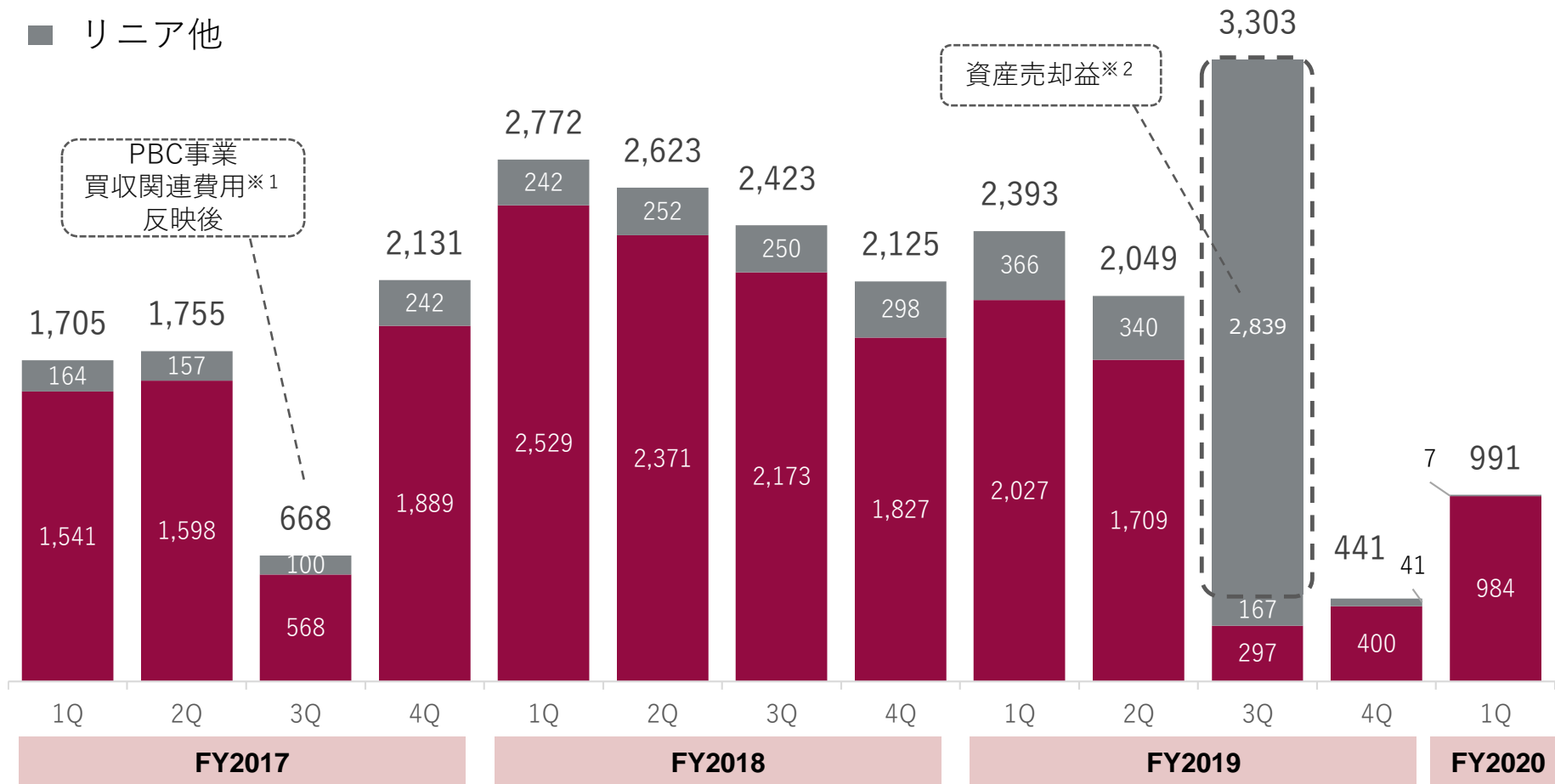
四半期 連結営業利益推移

四半期営業利益は大幅に回復

(百万円)

■ プレシジョン・コンポーネント

■ リニア他



※1 1,285百万円

※2 2,839百万円

FY2020 1Q連結業績

前年同期比



世界の自動車生産台数が大幅な減少となるなど、マクロ経済環境の急速な悪化により、為替影響を除いた売上収益は前年同期比19.7%減、営業利益は同57.8%減

(百万円)

	FY2019 1Q	FY2020 1Q			
	実績	実績	為替影響	増減額※1	増減比※1
売上	18,183	14,226	▲383	▲3,574	▲19.7%
営業利益	2,393	991	▲20	▲1,382	▲57.8%
対売上(%)	13.2%	7.0%	—	—	—
EBITDA	3,234	1,856	▲45	▲1,333	▲41.2%
税前利益	2,224	935	85	▲1,374	▲61.8%
当期利益	1,645	691	0	▲954	▲58.0%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

FY2020 1Qセグメント・地域別売上

前年同期比



マクロ経済環境の大幅な悪化により売上は減少。リニアは世界の工作機械受注（36%減）並みの落ち込み

(百万円)

	FY2019 1Q	FY2020 1Q			
	実績	実績	為替影響	増減額※1	増減比※1
グループ連結	18,183	14,226	▲383	▲3,574	▲19.7%
プレジジョン・コン ポーネントセグメント	16,530	13,192	▲385	▲2,953	▲17.9%
日本	3,037	2,511	—	▲526	▲17.3%
北米	3,813	3,235	▲39	▲539	▲14.1%
欧州	6,575	5,029	▲226	▲1,320	▲20.1%
アジア(含む中国)	3,107	2,417	▲120	▲570	▲18.3%
リニア他セグメント	1,653	1,034	2	▲621	▲37.6%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

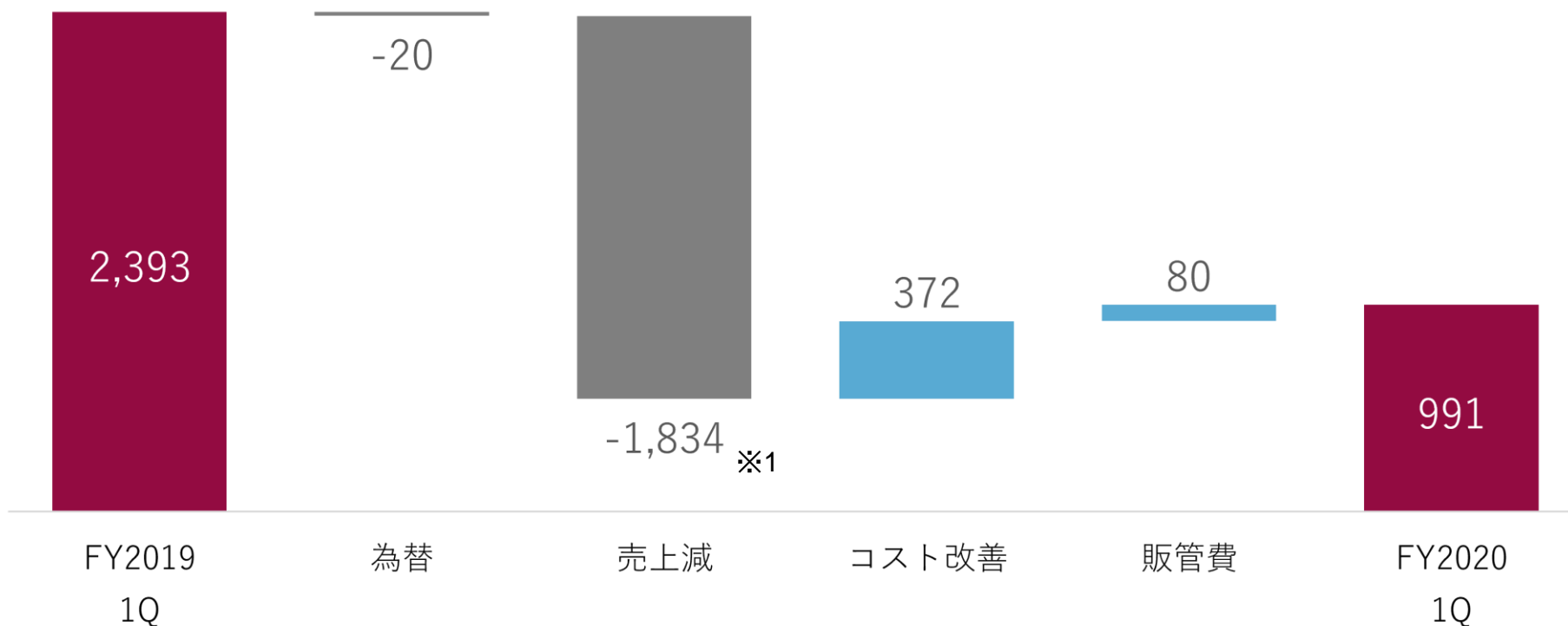
FY2020 1Q 営業利益 増減要因

前年同期比



コスト改善の勢いが定着し、販管費圧縮と併せて利益の下支えに大きく貢献したが、一方でマクロ環境の急激な悪化による売上減が大きく影響した

(百万円)



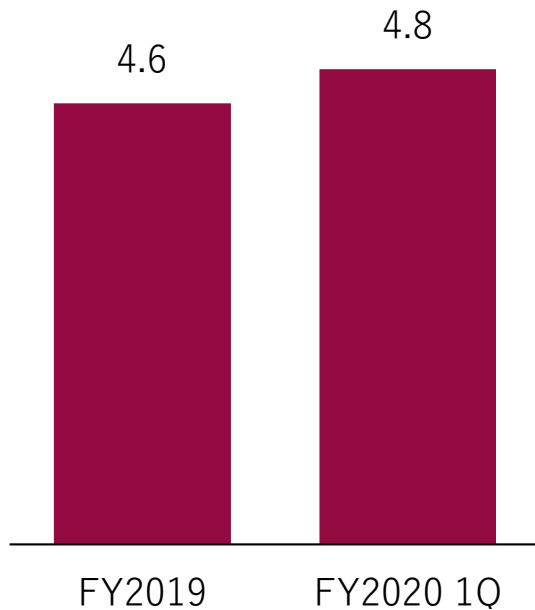
※1 土地売却（2019年度）による家賃収入減90百万円を含む。



BS／CFにおける業績

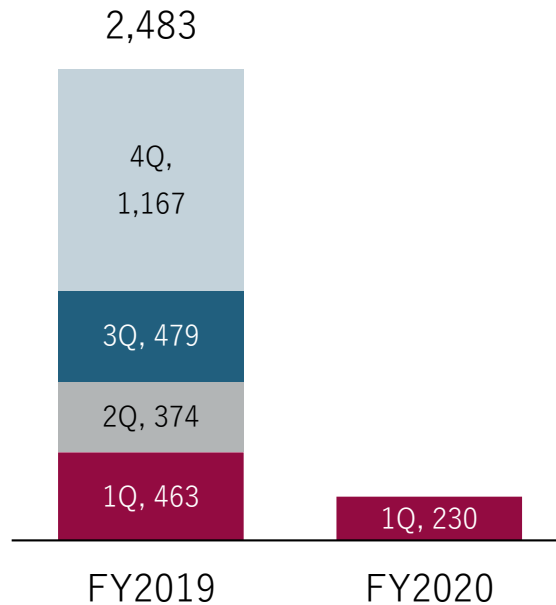
棚卸資産回転月数(月)

回転月数の改善、適正在庫管理の強化が課題



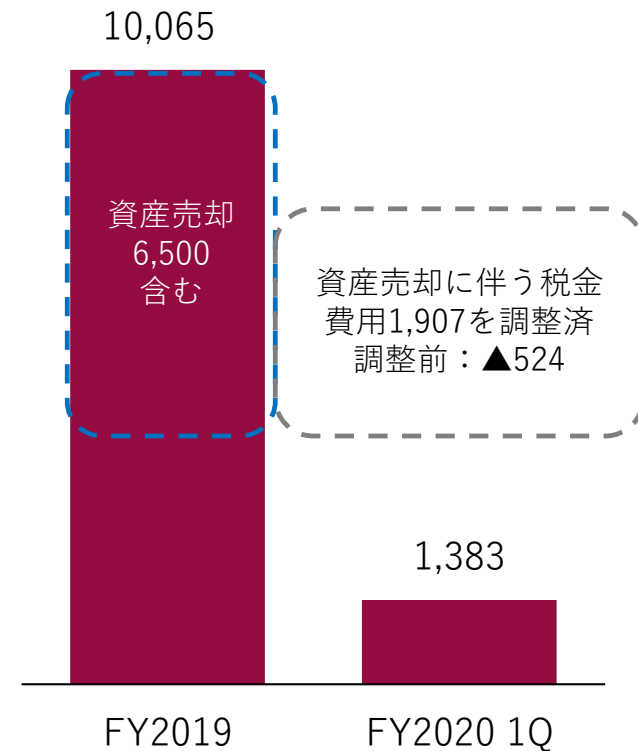
設備投資額(百万円)

来期以降の成長寄与及び操業リスク予防のための投資を除き、設備投資を選択的集中



調整後フリーキャッシュフロー(百万円)

手元資金の積み上げを推進



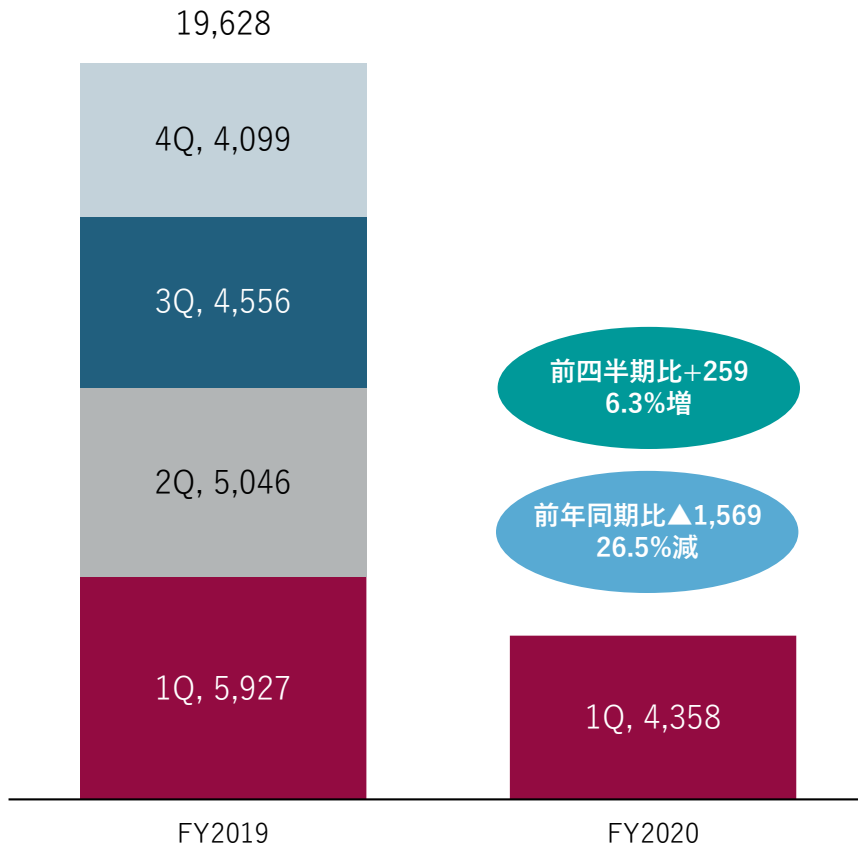


FY2020 1Q 販売戦略の進捗

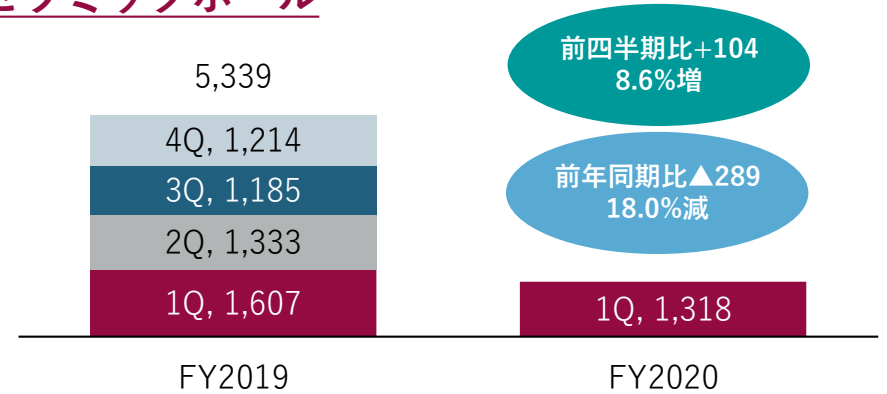
セラミックボールは5G関連の設備投資需要が底堅く推移し、2四半期連続で増加
アジア市場は中国での新型コロナウイルス影響により、約5億円減収

(百万円)

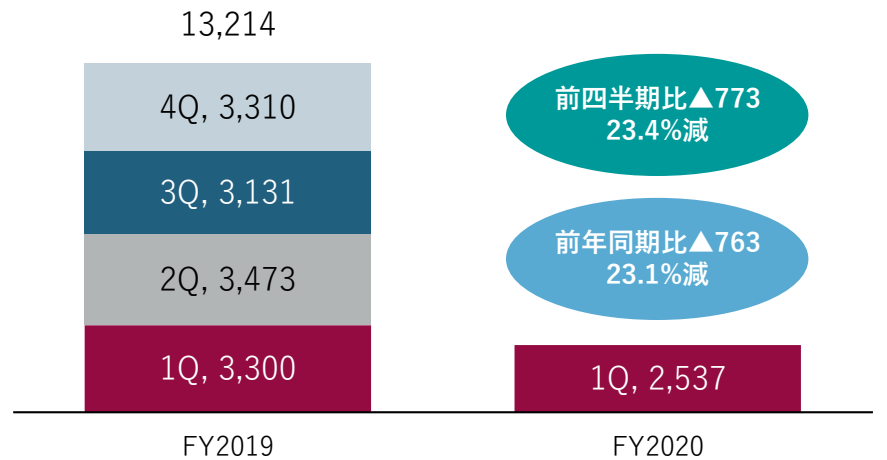
海外のお客様



セラミックボール



アジア市場（中国他）





2. 2020年12月期業績・配当の見通し



2020年12月期業績・配当の見通し

業績 見通し

新型コロナウイルス感染の影響が世界規模に拡大し、経済活動が停滞する状況が継続しています。

現時点では収束時期の見通しは立っておらず、業績予想の合理的な算定は困難であることから、2020年2月12日に公表いたしました業績予想を未定とさせていただきます。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

配当 見通し

一旦未定とし、今後、業績予想の算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

なお、配当性向50%維持および年2回配当（中間及び期末）の基本方針は不変です。



免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいません。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。